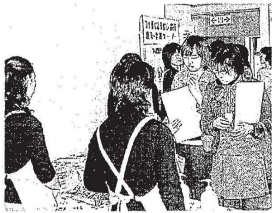




健康アクション佐賀21

(21世紀における市民健康づくり運動)

佐賀県・佐賀県歯科医師会



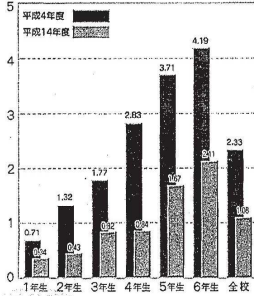
会場入り口ではフッ素塗口の体験コーナーも設けられた

「フッ素、正しい情報を見分けよう」と題したテーマの歯科保健シンポジウムが11月22日、鳥栖市のサンメッセ鳥栖で開催された。フッ素によるむし歯予防事業を推進している佐賀県が県歯科医師会等後援で開いたもので、フッ素の有効性や安全性について正確な情報を見分ける必要性について、歯科医師ら4人のシンポジストがそれぞれの立場から報告しました。県内の3歳児の一人平均むし歯数は現在全国ワースト3。過去には10年連続ワースト1だったこともあり、佐賀県は平成11年度から市町村に財政的支援を行い、フッ素塗布やフッ素洗口(うがい)による予防事業に取り組んでいます。シンポジウムではこうした取り組み状況や、具体的な成果などについても報告があり、約350人の参加者も熱心に耳を傾けていました。



シンポジウム フッ素、正しい情報を見分けよう!

■有明香小学校では、平成4年度からフッ素洗口を実施しています。1人平均むし歯数は、約半分にになりました。



有明香小学校では、平成4年度からフッ素洗口を実施しています。1人平均むし歯数は、約半分にになりました。



伊井 健児 鳥栖市歯科医師会会長



永原 界也 鳥栖小PTA会長



伊井 健児 鳥栖市歯科医師会会長



伊井 健児 鳥栖市歯科医師会会長



伊井 健児 鳥栖市歯科医師会会長

歯は人間の健康の要。歯が健康でないと、食事も楽しめず、生活も苦しくなります。歯を健康に保つためには、毎日の歯磨きと定期的な歯科検診が大切です。フッ素は歯を強くし、むし歯を防ぐ効果があります。正しい情報を見分け、積極的にフッ素を利用しましょう。

講演 薬の効き目から 食品の毒まで



講演者 田辺 功
鳥栖市立中央病院 院長
講演内容: 薬の効き目から食品の毒まで。現代社会では、薬と食品の安全が大きな課題となっています。講演では、薬の副作用や食品中の有害物質について詳しく説明し、市民の健康を守るための対策を提案しました。

講演者 田辺 功
鳥栖市立中央病院 院長
講演内容: 薬の効き目から食品の毒まで。現代社会では、薬と食品の安全が大きな課題となっています。講演では、薬の副作用や食品中の有害物質について詳しく説明し、市民の健康を守るための対策を提案しました。



シンポジウムは、鳥栖市立中央病院の講堂で開催されました。約350人の参加者が集まり、歯科保健の重要性について学びました。講演者からは、市民の健康を守るための具体的なアドバイスが提供されました。



熱心に耳を傾ける参加者